

令和7年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22098	事業名	シティプロモーション推進事業			評価分類	A1	
	事業手法	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助等 ☐ その他()							
	施策体系	施策の大綱	05:市民力・地域力の活性化			予算科目	会計	01:一般会計	
		基本施策	03:移住・定住の促進				款	02:総務費	
		施策の方向	01:戦略的なシティプロモーションの推進				項	01:総務管理費	
	重点プロジェクト	-				目	02:広報活動費		
	事業期間	H 29 年度 ~ R - 年度		主な根拠法令等		-			

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	人口減少対策として、本市が「選ばれるまち」となるため、市の魅力の発掘・磨き上げ・効果的な情報発信を行い、本市の認知度と都市イメージの向上、まちへの愛着・誇りの醸成による定住・交流・関係人口の増加を図る必要がある。	市内外の人	市内の人が、市の魅力を認識して、まちへの愛着や誇りを高め、住み続けたいと思う。市外からは、市の魅力を認知して、訪れたい、応援したい、住んでみたいと思う。	本市の良質な都市イメージについて、市内外のターゲットに対し、市民等の連携等により、共感性や信頼性の高い情報として様々な広報媒体や機会を通じて発信する。

③ 事業の実施状況 (P・D)	年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	事業計画		○シティプロモーション戦略の見直し ○シティプロモーション戦略に基づく各種情報発信(専用ホームページ等) ○職員研修の実施		○シティプロモーション戦略に基づく各種情報発信(専用ホームページ等) ○職員研修の実施		○シティプロモーション戦略に基づく各種情報発信(専用ホームページ等) ○職員研修の実施		○シティプロモーション戦略に基づく各種情報発信(専用ホームページ等) ○職員研修の実施	
	活動実績 (計画通り実施できたか)		第1期戦略の総括や地方創生会議の意見などを踏まえて、令和4年6月に第2期シティプロモーション戦略を策定した。専用ホームページの運営では、イベント842件、ニュース194件のページを更新した。令和5年1月に亀山駅前に開館した市立図書館を新たな魅力と捉え、同館を紹介するプロモーション動画を制作した。新規採用職員にシティプロモーションに関する研修を行った。		シティプロモーション専用ページの運営では、イベント934件、ニュース163件、フリップサポーター5組のコンテンツを更新した。また、三重県東京事務所ショーウィンドウを活用した展示(東海道三宿や街道まつりの紹介)、県内市町によるオープンデータの公開(広報等に掲載した写真の活用)を実施した。新規採用職員(4月)及び庁内担当職員(5月)にシティプロモーション研修を行った。		シティプロモーション専用サイトでは、イベント1,016件、ニュース145件、フリップサポーター5組の内容を更新し、ページ全体のビュー数は238,998件(前年比+9,863件)となった。また、シティプロモーション動画(健康都市1本)、県オープンデータサイトへの写真掲載(12件)、県東京事務所ショーウィンドウでの展示(東海道関宿)、新規採用職員(4月)及び庁内担当職員(9月)を対象に研修を行った。		シティプロモーション専用サイトでは、イベント940件、ニュース120件、フリップサポーター3組の内容を更新し、ページ全体のビュー数は242,246件(前年比+3,248件)となった。また、シティプロモーション動画(大阪・関西万博でのPR1本)の公開、オープンデータサイトへの写真掲載(18件)、県東京事務所ショーウィンドウでの展示(東海道関宿街道まつり)を実施した。さらに、新規採用職員(4月)及び庁内担当職員(5月)を対象に研修を行った。	
	計画額	事業費	2,800千円	2,800千円	2,800千円	2,950千円	2,800千円	2,529千円	2,800千円	2,484千円
		国・県支出金		0千円		0千円		0千円		0千円
		地方債		0千円		0千円		0千円		0千円
		その他		0千円		0千円		0千円		0千円
		一般財源	2,800千円	2,800千円	2,800千円	2,950千円	2,800千円	2,529千円	2,800千円	2,484千円
	決算額	事業費		2,669千円		2,575千円		2,516千円		2,479千円
		国・県支出金		0千円		0千円		0千円		0千円
地方債			0千円		0千円		0千円		0千円	
その他			0千円		0千円		0千円		0千円	
一般財源			2,669千円		2,575千円		2,516千円		2,479千円	
①期間内計画額(R4-7)		11,200千円		②期間外計画額(R8-)		-		①+②総計画額		11,200千円

(令和7年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	2,484千円
次年度への繰越額	0千円

	指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
④ 指標 (C)	シティプロモーション専用ページ更新件数	イベント情報／ニュース情報の掲載件数(年間延べ件数)	活動	件	計画値	600/100	620/120	640/140	650/150
					実績値	842/194	934/163	1016/145	940/120
	シティプロモーション専用ページへの訪問件数	シティプロモーション専用ページのページビュー数(年間延べ件数)	成果	千件	計画値	116	119	122	125
					実績値	134	229	238	242
	職員研修の開催回数	新規採用職員研修および庁内職員向け研修の開催回数	活動	回	計画値	2	2	2	2
					実績値	1	2	2	2

⑤ 成果 (C)	判定	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)
	B	シティプロモーション専用サイトでは、イベント情報やフリップサポーターによる亀山の好きなどころの紹介、亀山の魅力発信動画等を更新し、市の認知度や関心度の向上につながった。また、関西・大阪万博での公開用動画を作成し、国内外の人への本市のPRを行ったほか、三重県東京事務所ショーウィンドウにおいて東海道関宿街道まつりをPRL、集客の促進につなげることができた。このほか、職員研修を通して、各職員が情報発信の主体であるという意識を醸成することができた。
	まずまず成果を得た	

事業の対象	事業の目的
市内外の人	市内の人が、市の魅力を認識して、まちへの愛着や誇りを高め、住み続けたいと思う。市外からは、市の魅力を認識して、訪れたい、応援したい、住んでみたいと思う。

(再掲)

⑥ 課題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項	
	情報発信の担い手となる庁内担当職員の意識の認識については、異動による担当変更等があるため、継続的な研修の実施が必要である。また、本市のシティプロモーションは、市内外に向けた情報発信を中心に取り組んでいるが、交流人口や関係人口等の増加という視点での発信は十分とはいえず、より効果的なシティプロモーションの実現に向け、事業形成のあり方も含めた検討を進める必要がある。	

⑦ 事業の展開 (A)	方向性	
	標準事業に移行	今後の事業内容や規模等を踏まえ、標準事業に移行する。
	改善・見直し内容	
	令和8年度で対応する(した)もの 本市の魅力等を市内外の人に知っていただくため、シティプロモーション専用サイトの掲載内容の更新・充実に引き続き取り組んでいく。また、より効果的なシティプロモーションに向け、市内外への情報発信のあり方について検討を進める。	令和9年度以降で対応するもの まちの愛着や誇りの醸成を図るとともに、本市が選ばれるまちとなるよう、より効果的なシティプロモーションを検討しながら、市の魅力等を情報発信する活動を展開していく。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果判定	B	B	B	B
事業展開	継続(現状維持)	継続(現状維持)	継続(現状維持)	標準事業に移行

(履歴)

1次評価者	政策部 広報秘書課 広報GL 西川 智博
最終評価者	政策部 広報秘書課長 末崎 照美